

[0511/8A-025-001]

Ver.14

8.その他の検体検査 >> 8A.負荷試験・機能検査>>8A025 24時間クレアチンクリアランス

24時間クレアチンクリアランス

creatinine clearance, 24hrs

連絡先 PHS 6570

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

加齢とともに減少します。また女性では男性より低値となります。クレアチンサプリメントの摂取や菜食主義、肉食など食事の偏りがあると影響を受けます。

オーダーボタン名(検体)

0511

001

24hCcr[蓄尿]

検査予約

至急オーダー

可

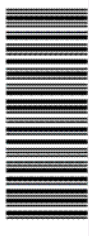
検査オーダーに関する注意事項

血清クレアチニンオーダーと24時間蓄尿が必要です。

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダイテスト	
注	80 外
☐	急
CCR.	
	
蓄尿	*-****-14008
尿検査室	**_***_***
U.	2ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[0511/8A-025-001]

Ver.14

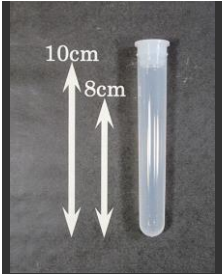
8.その他の検体検査 >> 8A.負荷試験・機能検査>>8A025 24時間クレアチンクリアランス

24時間クレアチンクリアランス

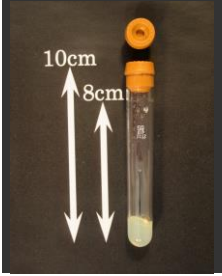
creatinine clearance, 24hrs

連絡先 PHS 6570

01	U	丸底プレイン(白)		
採取材料	蓄尿	採取量	2 mL	
測定材料		測定必要量		



02	C5	高速凝固促進剤＋血清分離剤(オレンジ))		
採取材料	血液	採取量	5 mL	
		遠心分離	遠心	
測定材料	血清	測定必要量		



採取容器について

検体採取について

24時間蓄尿が不正確であるものは受入不可
保存剤入りの尿は不可

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	受託終了	保存条件1						

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸
不可				

Ver.14

8.その他の検体検査 >> 8A.負荷試験・機能検査>>8A025 24時間クレアチニンクリアランス

24時間クレアチンクリアランス

creatinine clearance, 24hrs

連絡先 PHS 6570

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体採取日から2日間

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器	
------	--

検査所要日数	当日報告
--------	------

検査部門・委託先	外来棟2階 尿検査室
----------	------------

検査部門(平日時間内)	
-------------	--

検査部門(時間外・休日)	
--------------	--

検査結果報告について

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液・蓄尿
---------	-------

検査方法	腎クリアランス24時間法
------	--------------

生物学的基準範圍

		男性	女性	単位
00	24時間クレアチンクリアランス	***	***	mL/min
00	24時間クレアチンクリアランス (	***	***	mL/min/1.73
00	身長	***	***	cm
00	体重	***	***	kg
00	体表面積	***	***	m*2

基準値情報

体表面積の計算はDuBois式によります.

$$BSA = \text{身長}^{0.725} \times \text{体重}^{0.425} \times 0.007184$$

緊急異常値

電話連絡対応

[0511/8A-025-001]

Ver.14

8.その他の検体検査 >> 8A.負荷試験・機能検査>>8A025 24時間クレアチニンクリアランス

24時間クレアチニンクリアランス

creatinine clearance, 24hrs

連絡先 PHS 6570

臨床的意義

クレアチニン（creatinine: Cr）は骨格筋のクレアチン代謝と食餌性の肉摂取に由来し、血中濃度は比較的安定しており、糸球体で濾過され、尿細管では再吸収されず、代謝されないため、内因性Ccrは糸球体濾過量（glomerular filtration rate: GFR）に近似する。しかし、尿中Crの10～15 %は尿細管からの分泌によるため、イヌリンクリアランス（Cin）により測定した真のGFRより大きい値になる。腎機能の低下に伴いCcrは実際のGFRより高い値になる。

異常値を示す病態・疾患

参考文献

JLAC10

分析物	8A025	24時間クレアチニンクリアランス
識別	0000	
材料	098	ペア材料
測定法	919	計算法

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2012/02/24	2012/01/04～	報告形式変更
3	2015/11/25	2015/11/27～	基準値変更
4	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
5	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
6	2019/12/16	2019/12/16～	JLAC10更新に伴う検査項目名称変更
7	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
8	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
9	2022/04/06	2021/06/28～	検査場所を変更

[0511/8A-025-001]

Ver.14

8.その他の検体検査 >> 8A.負荷試験・機能検査>>8A025 24時間クレアチンクリアランス

24時間クレアチンクリアランス

creatinine clearance, 24hrs

連絡先 PHS 6570

10	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
11	2022/08/08	2022/01/04～	報告成分を追加
12	2022/10/03	2022/08/01～	基準範囲変更
13	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
14	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定